

5 沢の増水

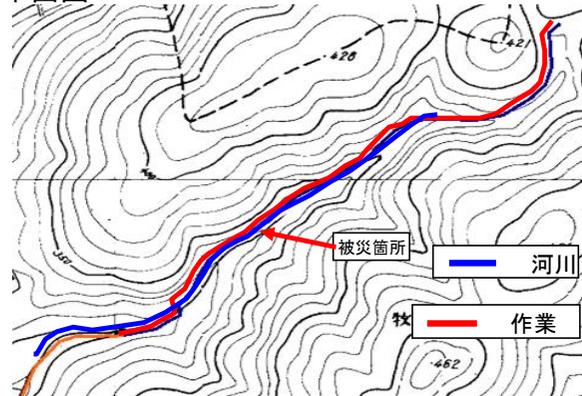
(1) 損壊状況(例)

○台風による豪雨により隣接する谷川が増水し、作業路路肩が約50mに渡り崩壊

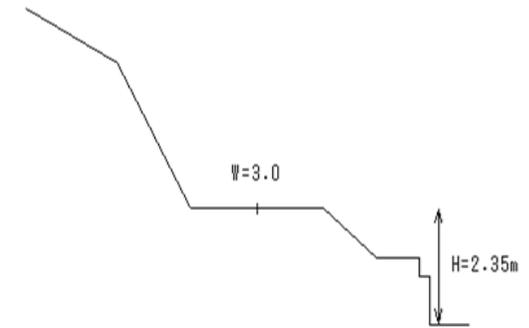
・状況写真



・平面図



・横断面

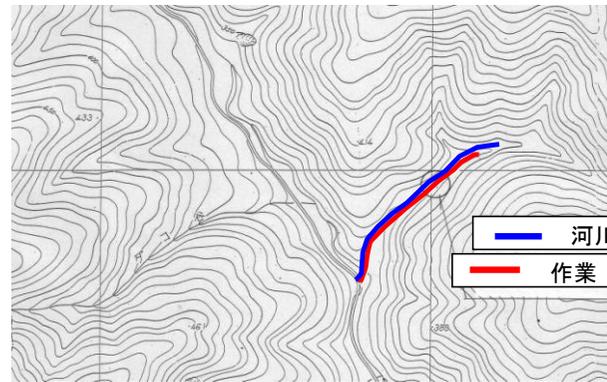


○谷川と接した作業道において、降雨により河川が増水し路肩を侵食

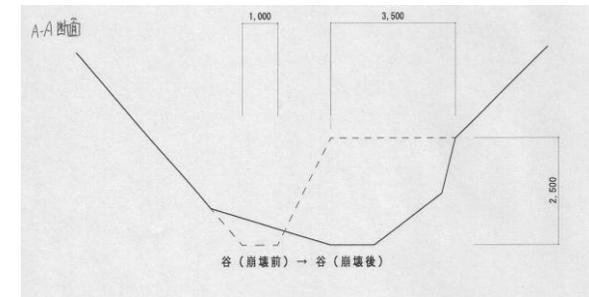
・状況写真



・平面図



・横断面



(2) 沢の増水による損壊が発生した要因

- ・沢や河川に沿った比較的平坦地において作業路を作設した場合、路肩部分の補強がなされていないため、法面(土羽面)及び路体が損壊。
- ・常水が少ない(又はない)河川(谷川)において、想定を超える降雨等により、法面(土羽面)及び路体が損壊。

(3) 対策

- ・可能な限り河川等の隣接地では作業路の作設を避けるか、路線選定の工夫(河川等から離す)をする。やむを得ず河川等の隣接地に作設しなければならない区間がある場合は、増水による損壊防止のため、転石等現地発生材で土羽部の保護対策をとる。
- ・可能な限り、過去の増水の状況把握に努める。